

3 中学校国語

- （１）調査結果の成果と課題**
- （２）課題となった問題の分析**
- （３）質問紙調査分析**
- （４）指導改善のポイント**

3 (1) 調査結果の成果と課題

成 果

「急がば回れ」「文化を継承する」など、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことはよくできています。

○関連する問題(A 8三アイウエオカキ)

「擬人法」など、表現の技法について理解することはよくできています。

○関連する問題(B1一)

中学校国語

課 題

目的に沿って話し合い、互いの意見の共通点や相違点を整理することに課題があります。

●関連する問題(A6一)

複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること、また、資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題があります。

●関連する問題(B2一・三)

文章の構成や叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることに課題があります。

●関連する問題(A4二・7二)

3 (2) ① 課題となった問題の分析

中学校国語①

課題となった問題

- 正答率が最も低いA問題(漢字を除く)
 - ・A6ー
 - ・本県56.3%, 全国54.3%, (+2.0%)

「課題」にある共通点の欄の□に当てはまる言葉を、高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書きなさい。

【黒板】

題名の候補について	
候補	メモリー ～いつも胸に友がいた～ はばたき ～きずなを胸に～
整理	
共通点	学級の団結力
相違点	過去の思い出

【話し合いの一部】

前田、題名の候補を「メモリー」いつも胸に友がいた」と「はばたき」～きずなを胸に～に決めました。今日は、題名を決めます。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってみます。それでは、南さんからお願いします。

南さん 「メモリー」いつも胸に友がいた」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出さうでしょう。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。

高橋さん 「はばたき」～きずなを胸に～」を推薦する理由は一つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のこと「きずな」という言葉に込められているからです。

【黒板】

⑥ 前田さんの学級では、卒業文集の題名を決めています。次は、話し合いの内容を整理した「黒板」と「話し合いの一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

課題

目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して共通点や相違点を整理することに課題があります。

【解答類型】

- 条件①, ②を満たしているもの(56.3%)
 条件①を満たし、条件②を満たしていないもの(0.4%)
 条件②を満たし、条件①を満たしていないもの(35.6%)
 上記以外の解答(2.1%), 無解答(5.5%)

指導のポイント

司会が話し合いの目的を適切に捉えて進行するよう指導することが大切です。そのためには、図表を用いるなどして、発言の共通点や相違点などを、観点に沿って整理する学習活動が有効です。

【参考】

平成23年度調査問題【小学校】B1二(1)

3 (2) ② 課題となった問題の分析

中学校国語②

課題となった問題

●正答率が最も低いB問題

・B2三

・本県27.9%, 全国28.4%, (－0.5%)

課題

目的に応じて適切な情報を得て、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことに課題があります。

【解答類型】

条件①, ②, ③を満たしているもの(27.9%)

条件①, ②を満たし, 条件③を満たしていないもの(0.1%)

条件①, ③を満たし, 条件②を満たしていないもの(1.1%)

条件②, ③を満たし, 条件①を満たしていないもの(53.2%)

上記以外の解答(4.3%), 無解答(13.4%)

指導のポイント

本や資料から得た情報を、他の人に説明する機会を設定し、定着を図ることが大切です。

生徒を言語活動に取り組ませる際に、より客観的な評価基準を設定し、生徒が表現した内容が適切であるかを判断し、必要に応じて指導を加えることが大切です。

条件1 「切手」「液体」「アଙ୍କカー効果」という言葉を全て使ったこと。
条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

三 封筒に貼ってある切手や本の中にばらばらと渡しておくと、きれいはがすことができます。その理由を次の条件と条件2にしたがって書きなさい。

※ 「インターネットの情報」の一部は、次のページにあります。

※ 「インターネットの情報」の一部は、次のページにあります。

(注1) 液体は、物質を溶かすのに用いる液体の状態のもの。
(注2) アଙ୍କカー効果とは、背に切り抜いた形を紙に貼付け、貼付けたまま手で、また、その付けられたあ。

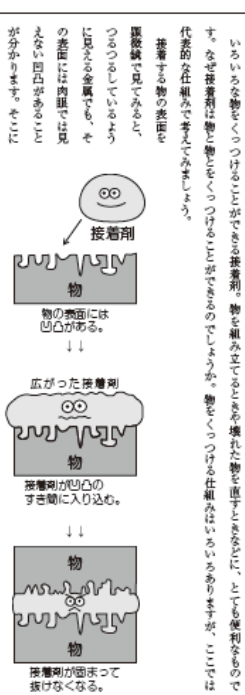
の部分は、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分が蒸発することです。接着剤が液体から固体になる点で共通しています。また、アイロンでくっつけるタイプの「アଙ୍କカー」の場合、固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けていったん液体になり、それが冷えて固体になることでくっつきます。このように、熱を加えて接着剤を一度溶かし、その後、液体が冷えて固まることでくっつく「接着剤をホットメルト接着剤」といいます。他にも、液体が化学変化を起こして固体になるものがあります。例えば、瞬間接着剤はその一例です。物の表面には、乾いているように見えてもわずかに水分が含まれています。また、空気中にも水分が含まれています。瞬間接着剤は、それらの水分に反応し、非常に速いスピードで固体に変化するのです。

最後に、接着剤がどのような場面で使用されているかを考えてみましょう。

接着剤の用途を見ると、思いもよらないものに接着剤が使用されていることに気がきます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤が使用されています。電子部品を作る際にも、金属の部品と溶けた接着剤を使用することがあります。また、つばの中にも、糊を支えているロープを、コンピュータでできた中に接着剤で固定している機もありません。このように、現代において接着剤は、様々な場面で使用されています。

次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。

接着剤が液体から固体になる変化は、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分の割合を含んでいて、それらが蒸発することで固まります。水分を含んでいない切手の場合も同様で、切手の裏面のり



② 次は、接着剤について書かれた「工の一應」と「インターネットの情報」の一部です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

工の一應

3 (2) ③ 課題となった問題の分析

中学校国語③

課題となった問題

●ABを通して全国平均と比べて差が最も大きい問題

- ・A4二
- ・本県75.9%, 全国80.5%, (－4.6%)

「憧れの先輩に学ぶ！」

5月13日、サッカー部では、本校の卒業生、プロサッカー選手の青木太郎さんをお迎えして「サッカー講習会」を行いました。部長が、青木さんを先導し、グラウンドに登場しました。

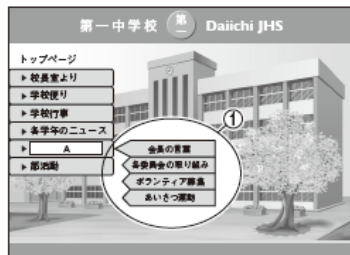
↓

青木さんが、、グラウンドに登場しました。

行事の記録の一部

書き置いた一文

二 池田さんは、ウェブページに掲載するために「行事の記録」をまとめている。掲載するにあたって、一 掲載を「青木さん」が主語にして一文を書き直そうと仰います。□の中にその内容として適切な内容を、意味が通いやすいようにして書き直してください。ただし、「(主語)」という言葉はそのまま用いること。



ウェブページの一部

4 池田さんは、第一中学校のウェブページを作成しています。次は、そのウェブページの一部です。これを見、あとの問いに答えなさい。

一 ウェブページの一部の□Aの部分をクリックすると、①のような画面が現れるようにしたいと考えています。□Aの書き直して最適なものを選び、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 年間の予定
- 2 授業の様子
- 3 本校の案内
- 4 生徒会活動

課題

文章の構成や叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることに課題があります。

【解答類型】

条件①、②を満たして解答しているもの(75.9%)
条件①を満たし、条件②を満たしていないもの(0.0%)
条件②を満たし、条件①を満たしていないもの(13.2%)
上記以外の解答(7.3%), 無解答(3.5%)

指導のポイント

書いた文章を推敲する際に、伝えたい事柄が明確になるように、主語と述語の関係や修飾語・被修飾語の関係など文の構成や接続の仕方に着目して、その効果を検討するよう指導することが大切です。

例えば、同じ事柄であっても主語を変えることで内容の伝わり方が変わること、文章に書くことで実感させると効果的です。

3 (3) 中学校国語に関する質問紙調査分析

質問紙（中学校国語に関する部分）から、見えてきたこと

生徒質問紙から

多くの生徒が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均に比べて低い傾向にあります。

- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

- ・ 本県73.5%, 全国70.4%, (+3.1)

- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか

「当てはまる」

- ・ 本県9.6%, 全国11.7%, (-2.1)

- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

「当てはまる」

- ・ 本県15.7%, 全国18.2%, (-2.5)

学校質問紙から

目的や相手に応じて話したり聞いたりする取組の実施状況は高い傾向にあります。一方、様々な文章を読む習慣や、基礎的・基本的な事項を定着させる授業の実施状況は、全国平均に比べて低い傾向にあります。

- 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか 「よく行った」

- ・ 本県28.3%, 全国18.9%, (+9.4)

- 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか

「よく行った」

- ・ 本県20.9%, 全国23.3%, (-2.4)

- 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか 「よく行った」

- ・ 本県47.7%, 全国57.9%, (-10.2)

3 (4) ① 授業づくりに当たって (中学校国語)

- 1 指導事項等を確実に身に付けるための単元を貫く言語活動を充実させましょう。
 - ・「身に付けたい力」「言語活動」「教材文」の有機的な関連付けを図ること。
 - ・生徒の主体的な思考力・判断力が生かされる言語活動を設定すること。
 - ・思考力，判断力，表現力等を高めるための発問を工夫すること。
- 2 漢字，語句，故事成語の意味や使い方の定義を確実に習得させましょう。

3 (4) ② 指導内容における改善のポイント (中学校国語)

学力調査結果分析から見える課題に応じた内容の研究を充実させましょう

- 各教科等との関連を図りながら，司会の経験をする機会を設定するとともに，目的に合った結論を導き出すための話合いができるよう指導すること。
- 伝えたい事柄を明確にし，目的や相手に応じて，取り上げる内容，順番等を考え，よりよい文章となるように指導すること。
- 複数の資料から必要な情報を読み取り，整理したり，要旨を捉えたりする学習活動を設定すること。